

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 FCM株式会社
 コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月4日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 市居 律雄
 (氏名) 丸山 仁

TEL 06-6975-1324

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,792	14.1	254	659.9	285	473.5	171	842.7
26年3月期第2四半期	8,580	9.0	33	—	49	931.0	18	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	100.66	—
26年3月期第2四半期	10.68	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
27年3月期第2四半期	9,331	—	3,441	—	36.9	—	2,020.16	
26年3月期	8,999	—	3,291	—	36.6	—	1,932.10	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 3,441百万円 26年3月期 3,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	6.0	380	162.6	430	131.7	280	195.0	164.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	1,704,267 株	26年3月期	1,704,267 株
27年3月期2Q	484 株	26年3月期	425 株
27年3月期2Q	1,703,810 株	26年3月期2Q	1,703,919 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、売上高9,792,675千円(対前年同期比14.1%増)、営業利益254,914千円(対前年同期比659.9%増)、経常利益285,509千円(対前年同期比473.5%増)、四半期純利益171,499千円(対前年同期比842.7%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

(電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は2,770,767千円(対前年同期比14.5%増)となりました。パワーエレクトロニクス関連や自動車部品向けは、案件ごとの振れ幅はあるものの、比較的順調に推移しております。一方、単価的には厳しいながらスマートフォンやタブレット端末向けの需要が旺盛で、増産に対応するため大幅に稼働を上げての操業となっております。原価低減への取組みも継続しており、結果として当該セグメントの経常利益は213,516千円(対前年同期比682.4%増)となりました。

(電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、売上高は7,021,907千円(対前年同期比14.0%増)となりました。前年同期に比べて国内の銅建値が上昇したことに加えて、主力の建設・電販や通信向けが堅調に推移しました。異型線関連も計画通りの受注となり、経費削減にも努めた結果、当該セグメントの経常利益は71,992千円(対前年同期比220.1%増)となりました。

売上高

単位(千円)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	2,420,123	28.2%	2,770,767	28.3%	14.5%
電気機能線材事業	6,160,310	71.8%	7,021,907	71.7%	14.0%
合計	8,580,433	100.0%	9,792,675	100.0%	14.1%

加工売上高

単位(千円)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	1,141,390	72.5%	1,332,577	72.0%	16.8%
電気機能線材事業	432,020	27.5%	517,294	28.0%	19.7%
合計	1,573,410	100.0%	1,849,871	100.0%	17.6%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

(2) 財政状態に関する説明

(貸借対照表の状況)

総資産は9,331,751千円となり、前事業年度末に比べ332,487千円増加しました。これは現金及び預金が62,669千円減少したことと、受取手形及び売掛金が123,380千円、仕掛品が214,962千円増加したことなどによるものです。

負債合計は5,889,830千円となり、前事業年度末に比べ182,557千円増加しました。これは買掛金が191,840千円減少したことと、短期借入金が増加したことなどによるものです。

純資産は3,441,921千円となり、前事業年度末に比べ149,929千円増加しました。これは当第2四半期累計期間の四半期純利益と剰余金の配当などを反映したものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて62,669千円減少し、184,176千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、156,137千円の支出(前年同四半期累計期間は756,585千円の支出)となりました。主な収入は税引前四半期純利益262,749千円、減価償却費178,548千円であり、主な支出は売上債権の増加額123,380千円、たな卸資産の増加額248,667千円、仕入債務の減少額191,840千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出134,203千円などにより134,504千円の支出(前年同四半期累計期間は75,995千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額400,000千円の収入や長期借入金の返済による支出142,960千円、配当金の支払額28,961千円などにより227,972千円の収入(前年同四半期累計期間は12,727千円の収入)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間においては、電子機能材事業のスマートフォン向けの需要が好調で、増産に対応するため大幅に稼働を上げての操業となりました。

第3四半期以降は、スマートフォン向け案件は若干ペースダウンの予測となっており、その他の受注はおおむね堅調に推移する見込みとなっております。計画達成に向け、引き続いて取り組み事項の実行と課題解決に努めてまいります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	246,845	184,176
受取手形及び売掛金	4,682,657	4,806,037
仕掛品	169,676	384,639
原材料及び貯蔵品	286,771	320,475
繰延税金資産	15,196	19,885
その他	15,926	42,726
流動資産合計	5,417,074	5,757,942
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	787,332	769,550
機械及び装置(純額)	630,196	551,995
土地	1,863,981	1,863,981
建設仮勘定	9,495	58,242
その他(純額)	90,785	113,223
有形固定資産合計	3,381,792	3,356,993
無形固定資産	9,379	10,395
投資その他の資産		
投資有価証券	27,876	40,125
繰延税金資産	153,918	157,243
その他	29,580	29,407
貸倒引当金	△20,357	△20,357
投資その他の資産合計	191,017	206,419
固定資産合計	3,582,189	3,573,808
資産合計	8,999,264	9,331,751

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,098,945	2,907,104
短期借入金	100,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	573,920	552,970
未払法人税等	37,677	108,783
その他	305,267	336,422
流動負債合計	4,115,810	4,405,281
固定負債		
長期借入金	1,150,488	1,028,478
退職給付引当金	364,578	384,355
その他	76,395	71,715
固定負債合計	1,591,461	1,484,548
負債合計	5,707,272	5,889,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	1,777,519	1,920,053
自己株式	△948	△1,055
株主資本合計	3,291,191	3,433,618
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	801	8,302
評価・換算差額等合計	801	8,302
純資産合計	3,291,992	3,441,921
負債純資産合計	8,999,264	9,331,751

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	8,580,433	9,792,675
売上原価	7,925,432	8,932,587
売上総利益	655,001	860,087
販売費及び一般管理費	621,454	605,173
営業利益	33,546	254,914
営業外収益		
受取利息	1	6
受取配当金	373	455
助成金収入	7,554	1,050
スクラップ売却益	12,429	29,638
その他	4,779	8,570
営業外収益合計	25,137	39,720
営業外費用		
支払利息	6,255	5,566
売上割引	1,788	2,424
その他	859	1,134
営業外費用合計	8,903	9,124
経常利益	49,780	285,509
特別利益		
固定資産売却益	—	179
特別利益合計	—	179
特別損失		
固定資産除却損	3,379	22,939
特別損失合計	3,379	22,939
税引前四半期純利益	46,401	262,749
法人税、住民税及び事業税	7,991	103,393
法人税等調整額	20,218	△12,142
法人税等合計	28,209	91,250
四半期純利益	18,191	171,499

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	46,401	262,749
減価償却費	216,401	178,548
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△58,790	-
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,572	19,777
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	132	-
受取利息及び受取配当金	△374	△461
支払利息	6,255	5,566
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△179
固定資産除却損	3,379	22,939
売上債権の増減額 (△は増加)	△150,734	△123,380
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△28,655	△248,667
仕入債務の増減額 (△は減少)	△781,282	△191,840
その他	△6,015	△43,407
小計	△746,709	△118,356
利息及び配当金の受取額	374	461
利息の支払額	△6,551	△5,651
法人税等の支払額	△3,699	△32,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	△756,585	△156,137
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△606	△618
有形固定資産の取得による支出	△104,258	△134,203
有形固定資産の売却による収入	30,000	180
無形固定資産の取得による支出	△460	-
その他	△670	137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,995	△134,504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△224,960	△142,960
長期未払金の返済による支出	△4,058	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,129	-
自己株式の取得による支出	-	△106
配当金の支払額	△124	△28,961
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,727	227,972
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△819,853	△62,669
現金及び現金同等物の期首残高	927,135	246,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	107,282	184,176

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	2,420,123	6,160,310	8,580,433
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,420,123	6,160,310	8,580,433
セグメント利益	27,289	22,491	49,780

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	2,770,767	7,021,907	9,792,675
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,770,767	7,021,907	9,792,675
セグメント利益	213,516	71,992	285,509

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。